



本年の出演者は約700名。関係自治会の皆さんを始め、消防団、小中学生、都留文科大学生、留学生、地元企業、赤熊保存会、保育園・幼稚園、伝統芸能継承団体の皆さんなど多くの方々が出演しました。

道中唄が流れた後、踊り方の「おたーちー」の合図で大行列が谷村の町に繰り出すと、ユーモラスな踊りを披露してくれた奴さんや可憐なお姫様や腰元、勇ましいお侍などが壮大な時代絵巻を繰り広げました。

メイン会場の谷村第一小学校校庭では、勇壮な太鼓の演奏を皮切りに、舞いや踊り、お囃子などが披露されました。

大行列が会場に姿を現すと祭りも最高潮。その後、あたりが闇に包まれると、祭りのフィナーレを飾る花火が、行く夏を惜しむかのように、賑わう谷村の空に打ち上げられました。

